

科目名	音楽		英文表記	Music		2015/03/31	
科目コード	1012					作成	
教員名:上江洲 安彦							
技術職員名:							
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			1年	選	履修	1単位	後期
科目目標	実技中心の授業形態の中から、個人の技術力を高め、アンサンブルや合奏を通じて音楽の楽しさを実感する						
総合評価	評価基準は実技試験(中間・期末)の結果80%+授業における自発性と積極性20% 学年末評価は中間・期末評価の平均で行い、60%以上を合格とする						
科目目標達成度	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理論的な関連レベル (高)	機能的な関連レベル (高)	最低限必要な関連レベル (可)	セルフチェック
	①	毎回授業の初めに今日の目標を定める	個人レッスン等を行い出来具合をチェックし、自発性・積極性を確かめる	サンシンがしっかりと弾けて、一人で歌がちゃんと歌える。しかもいい声で。	工工四が読めるようになり、サンシンのツボが押さえ、歌うことが出来る。	工工四が読めるようになり、サンシンだけでも弾けるようになる。	
	②	リズムトレーニングの中から表現力を養う	声を出して積極的に参加しているかチェックする	音楽は何時でも声と歌が伴うので、それが積極的かつ豊かな表現力がある。	音楽は何時でも声と歌が伴うので、それを積極的に自ら進んで声を出している。	音楽は何時でも声と歌が伴うので、大きな声でそれをする努力が認められる。	
	③						
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	◎	○					
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(授業参加・課題)	総合評価	セルフチェック
評価項目		80	0	0	20	100	
基礎的理解	①②	65			15	80	
応用力(実践・専門・総合)						0	
社会性(ルビコン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学習意欲	①②	15			5	20	
授業振振、方針、履修上の注意	授業は沖縄音楽と西洋楽器の融合性を図るを特徴としています。授業の進行は、初日に自分の得意な楽器等のアンケート調査を行い、沖縄音楽を題材にサンシン等も取り入れ、色々な楽器を交えた編曲を行い、小さなオーケストラ的なものにし、アンサンブルや全体合奏を通して音楽の楽しさが実感できるものにと考えています。正確な評価を目指す為、中間と期末の二回、アンサンブルでの実技試験を実施します。						
教科書・教材	教師自身が作成したもの						

週	授業項目	時間	授業内容	自学自習 (予習・復習) 内容	セルフア エック
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8	前期中間試験(行事予定で変更可)				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[2]			
16	ガイダンス	2	授業形態の説明後、種目ごとの高、得意な楽器* 経験した楽器等のアンサンブル演奏を行う。		
17	リズムトレーニング及び	2	楽曲の練習		
18	#	2	#		
19	#	2	#		
20	#	2	#		
21	#	2	#		
22	#	2	#		
23	中間試験	2	アンサンブルでの実技試験		
24	アンサンブル及び全体合奏	2	楽曲の練習		
25	#	2	#		
26	#	2	#		
27	#	2	#		
28	#	2	#		
29	#	2	#		
30	#	2	#		
期末	期末試験	[2]	アンサンブルでの実技試験		
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(執行)	
①				各2時間×30回	
②				各5時間×2回	
③					
備考欄					